

# 2024年度

# Peach Women's Business School

## 第14回

登壇者：株式会社日本総合研究所  
調査部長 チーフエコノミスト  
石川 智久 氏

講演テーマ：「2025年の世界経済」  
～トランプ政権は世界・日本経済に  
どのような影響を与えるか～

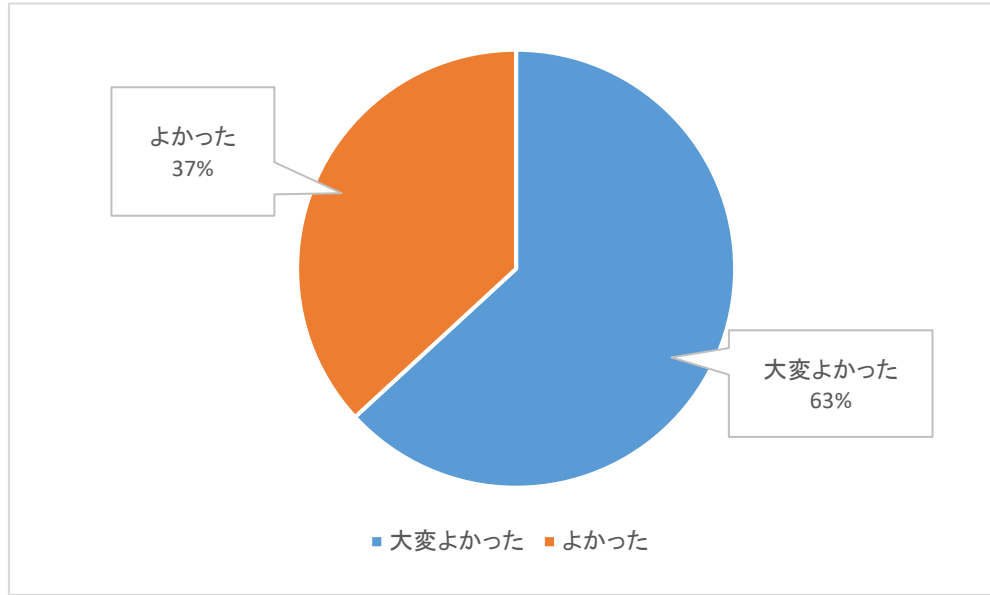
# 2024年度PWBS 第14回アンケート集計結果

研修日：2025年2月20日(木)

登壇者：株式会社日本総合研究所 調査部長 チーフエコノミスト 石川 智久氏

講演テーマ：2025年の世界経済～トランプ政権は世界・日本経済にどのような影響を与えるか～

## (1) PWBS・PKS+の合同開催はいかがでしたか。【大変良かった、良かった、普通、どちらとも言えない】



## (2) 上記の理由を記述してください。

先生も仰っていた通り、世界経済を自身と結びつけて考えることは、こういった機会がない限りなかなか無いことでしたので、意見交換の場が持てて非常に良かったと思っています。また、Kokorozashiの方々と一緒にすることで、普段の講義とまた違った視点の意見にも触れられて、新鮮でした。

お互いの業界や仕事内容も踏まえた上で話を進めましたが、欲を言えば、もう少しだけお話する時間があれば良かったなと思います。総じて、最後の講義として学びになる機会でした。

kokorozashiの皆様は一段と高い視点をお持ちの方が多く、視点/視野/視座の観点、意見の深みという点でも大変勉強になりました。また講演についても、難解なテーマかと思いきや先生の語りが非常に面白く、あっという間の3時間となりました。

通常のPWBSよりも更に多様な業種・職種の方と、各社の事業を通して経済の変化に関する実感について意見を交換できとても興味深かったです。

広く様々な意見にふれることができたため、良かったと思う。ただ、人数が多いと個々の発表の機会は減ってしまうため、今回のように全期を通して1、2回の合同開催がちょうどよいのではないかと。

普段PWBSメンバーと研修を行うのももちろん勉強になっているが、PKSのメンバーも合流することで、業種や役職も異なるので、また違った視点での意見を聞くことができた。

世界経済が会社や組織にどう影響を与えるのかを常に自身では考えていましたが、プロの分析結果を聞かせてもらえ視野や考え方が大いに広がりました。非常に重要な機会でした。

経営視点を持って組織運営していくことは必須であるので、自身も情報収集するとともに先生のお話も定期的に伺いたいと感じました。新春経済座談会に注目されているなど、情報収集のコツも伺えたり、公開されているようなデータだけでなく非常に価値のあるデータ分析や裏情報が満載の講義が受講できて大変感謝しております。

いつもの講義とは違う雰囲気でした。  
グループ討議ではPKS+のメンバーの方にリーダーシップを発揮していただき、スムーズに進行されました。  
また、各メンバーから出た意見の要点を集約し、報告される様子が素晴らしかったです。  
短時間でしたがご一緒させて頂いてとても勉強になりました。

世界経済、情勢についてニュースで聞くことの範囲での理解しかありませんでした。本研修において、専門家の見方やここだけの情報、講師の見解なども交えわかりやすく、また興味を抱きやすい形でお話頂き、自分事として学ぶことができました。  
また、今後の自身のスキルアップのため、経営戦略を学んでいこうとしており、様々な書籍を読む中で、外部環境の分析が大事であることが分かりました。今後は国内だけでなくグローバル視点での戦略が必要となると記載がございました。その為今回のセミナーと結びつきより一層理解が深まりました。

いつもとは違うメンバーでの話し合いは違った視点も聞くことができ学びになりました。

現在の日本を取り巻く状況について、幅広く基礎的なことから学ぶことができたため、社会や経済の動向をより深く理解する助けとなりました。また、2025年は大きな転換期にあることを認識し、この変化の流れを先読みすることの重要性を知ることができたため。

経済や金利について、分かっていないことばかりでしたが、初心者にも分かるように噛み砕いてご説明いただいたため、内容を理解することができ、大変勉強になりました。

Kokorozasiの研修参加者の方との初のグループワークでしたが、議論を進めるにあたってのリーダーシップの取り方や自社の経営状況・事業の理解度、発表でのまとめ方など、自身とのレベルの差を痛感しました。視座を高く持つことの重要性を教えていただき、得難い経験となりました。

異業種の方や年齢もバラバラでの日常交流できる機会が中々ないため、さまざまな意見を聞くことが出来ました。考え方や知見も広がり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

様々な業種の方と意見交換ができて大変参考になりました。

学ぶことが多い講義でした。主に2つの観点があり、①前半講義の海外含めたマクロ情勢等は、知らないことも多く、純粋に知識が増える機会となりました。②講義を踏まえてグループワークすることで、自社では課題と感じないことも他業界や他社状況を知ることで、視野が広がったとともに、講義の理解度も深まったと感じております。

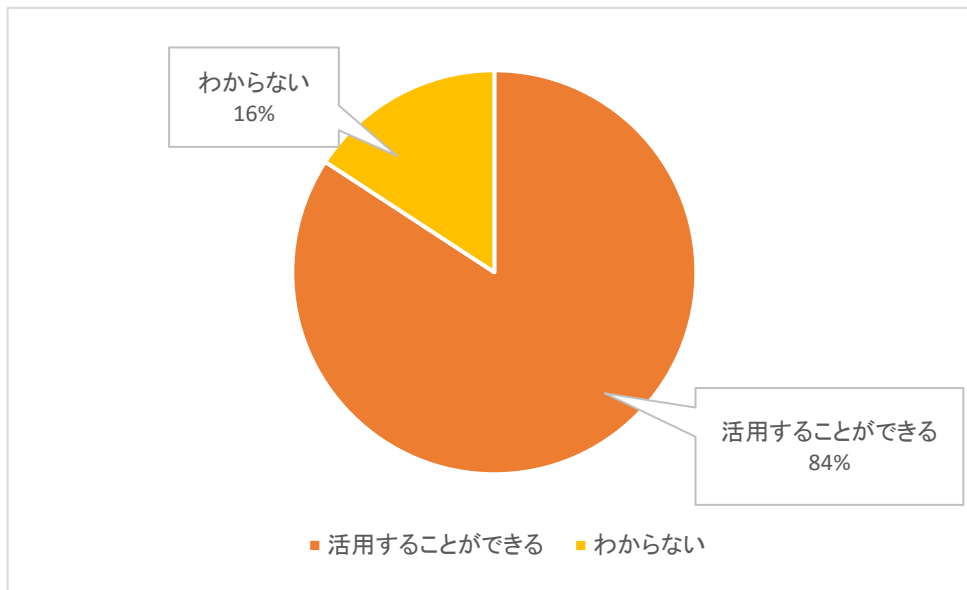
丁度、あるテレビ番組にて、「今のアメリカの政治は、戦前の保護主義と同じ。だから、その時代の歴史を参考にして・・・」という番組があった。  
講義内容がまさにそうであり、アメリカのみならず日本の歴史の観点からも説明され、大変面白かった。世界史のテキストを読み直したく思う。  
また、PKSの方との意見交換もあり、また違う視点で各企業やその方々の意見を知れて勉強になった。

新しい交流の機会ができ、またグループワークでも新たな発見等ができたため。

過去の研修と違って今起きているお話を聞けたのが面白かったです。中々難しい話題でついていくのにいっぱいいっぱいでしたが、難しい話でも理解できるようにならないといけなとおもいましたし、実際の管理職の方々の思いを聞いて、ここまで考えられるようにならないと思え、モチベーションになりました。

参加者の業界が変わると視点や情報が変わる点がよかったですと思いました。

(3) 本日の講義の内容は、ご自身の仕事に活かすことができそうですか。



(4) 上記の理由を記述してください。

世界経済との繋がりに目を向けることはなかなかできていませんでしたが、実際に話し合ってみると、価格高騰や品質の維持に至るまで、さまざまな面で世界と関わっていると実感することができました。また、グループワーク課題として「自社の企業価値を高めるために」を考えたことで、頭の中の整理がついたように思います。

目に見えない"商品"を扱っているサービス業界においても、資材類の価格高騰の影響は避けられず、結果的にはお客様にもご負担をおかけしてしまいます。"企業価値を高めるために企業価値を高める"…と言うとまったく訳のわからない文章かとは思いますが、会社としての価値を長く保っていくためには、お客様との間に信頼関係を築き、支持を得られる会社であり続ける必要があると考えています。そのためできることを引き続き考え、取り組んでいきたいと思っています。

世界の出来事や経済を捉える際は、ミクロだけでもマクロだけでもなく、それらを結びながら自分事として紐付けて語れる力が必要だというメッセージが印象深く残りました。なんとなくニュースを見るだけではなく、今後はその視点で物事を考えるよう癖付けたいと思います。

弊社が事業展開をしている米国、インドの経済動向についてお伺いし、各国での事業成長の可能性とリスクを再認識しました。また、日本は人口減少と高齢化による構造変化を迎える中で、弊社の国内事業の収益を維持していくためには事業にも構造変化が必要であることを改めて実感しました。経済が刻々と変化することに対して、自身の業務を通して走りながら学ぶことを意識して情報をインプットしていきたいと思っています。

経済のトレンドやポイントを学び、世界経済という大きなうねりの中で今後自社がどのように生き残り成長していくのかを考えることができたため。自社では特に、「伝統と斬新さのバランスを大切にしながら、異業種から知見を得て積極的に新たなチャレンジをしていくこと」が、これまで以上に必要だと感じた。他社の方が考える未来への戦略も聞くことができ、参考になった。

グループでは「お互いが目的を持って話をする」「カスタマー・企業のファンを作ること」という話が出て、これは業務にもすぐ活かせる、または目指すべきことだと思った。多様化が進み、また今までの働き方も変貌していく中で、「その他大勢ではない相手」というのが重要と感じた。

世界経済、日本経済は会社の経営計画に直結しているため、会社の経営を理解し組織運営するためには不可欠であるため。成功している企業の特徴については、組織運営においても参考になるので身近な取り組みから始めてみるきっかけになりました。

世界情勢についてはニュースなどで触れることはありますが、世界経済となると自身にとっては意識の薄いテーマでした。今回の講義は難しくもありましたが要点が凝縮されていて、とても勉強になりました。今は目の前の仕事で精一杯ですが、もう少し視野を広げる意識を持っていきたいと思っています。

また、最後にお話に出た「どのような企業が元気があるか」の特徴について、一見すると当たり前のようにありながら、実際にそれを実践できている組織は多くないのではないのでしょうか。

これらの考え方が自社の文化として根付くよう、自分の立場からも貢献していければと考えております。

海外情勢が日本に与える影響力は大きいかと思います。そういった中で自社が今後、継続的に収益を獲得していくためには、国際的な情報などを含んだマクロな視点での戦略が大事になってくると思います。自身はこれまで、あまり興味を抱くことはなかったのですが、今回楽しく学ぶことができたこともありもっと深く学んでいきたいと感じました。

仕事に「どう活かすかは」まだ明確には思いつくことはないのですが、知っておくべき知識として意識的に情報を集めたいと思います。

成功している企業の特徴は組織単位でも当てはまる項目が多いため、自分でも意識をして行動しようと思いました。また、世界情勢や金利の話も、直接仕事に関わるものではないが、いずれは影響が出てくるので見方を学ぶことができて良かったと思う。

日系企業として、戦略的な意思決定や未来に向けた準備において、金利動向や今後のグローバルな経営視点を持つことの重要性を再認識しました。世界経済の動きや各国の金融政策が企業活動に与える影響を的確に把握することで、適切な資本配分や投資判断が可能となり、経済環境の変化に迅速に対応できるということを学びました。

これまで経営の視点に立って自社のこれからを考えるということはしたことがなく、会社で働く上で大切な視点だと思いました。また、グループの方は会社のことをよく理解されご自分の考えも持っていらっしやだったので、私もそのようになりたいと思うことができました。

知識が不足しており難しいテーマでありましたが、米国の政権交代による世界経済への影響や国内の見通しなど、幅広く教えていただき、理解が深まりました。

個人的には、DEIの取り組みが見直されるのではという話が一番興味深いところでした。

今日のニュースで、IT大手のアップル社が株主総会でDEIの取り組み廃止を求めた株主提案を否決して、引き続き多様性を重視する姿勢をとったところ、トランプ大統領がこれを批判したということが報道されていましたが、もし政権が変わるたびに企業が経営方針を180度転換するとなれば、社内人間は何を核に推進すれば良いのか、非常に迷うだろうと思います。マクロの環境変化をとらえながら、自社がその変化の中でどのように生き残っていくのか、柔軟に、けれどブレない信念を持って、戦略的に考え動いていく必要があると感じました。日々アンテナを張ること、全体を俯瞰して考えることを心掛けていこうと思います。

50年に一度、100年に一度と呼ばれるくらい大きな変化がある年と言われますが、やはり世界経済はアメリカの影響を大きく受けていると改めて感じました。近年は、中国が注目されてきたが、生産拠点や日本への研修生を見ても、インドをはじめASEAN諸国にスライドしつつあることを受け、日本という狭い視野だけではなく、大きな視野を持ち、幼い頃から金融や経済の教育を日本も取り入れていくべきだと思いました。

本日の講義を聞いて自社、自分自身にどんな影響があるかを考えることができました。その上ですぐに実践した方が良いことと長期的に取り組むことを整理できました。

グローバルの動きは、直接自分の仕事に影響することは少ないのではないかと勝手に思い込んでいた部分がありますが、そんなことは無く、直接的ではなくても間接的に必ず紐づいていることがある点などを学ぶこととなりました。得に、海外主要国の動きは、自身が営業を行う先の企業に影響が大きい内容もあり、常にアンテナを張って情勢をキャッチアップしていく必要性を感じました。

日々の業務の目の前のことに追いやられているが、長い視点で業務や会社の方針を考えるための時間をとることが必要と思った。

自分の知識不足を痛感し、なるほどと思う発見はたくさんあったが、それを自身・自社がどう行動していけば良いか見いだせていないため。

正直現在の実業務に落とし込めるかといわれると難しいかなと思いますが、長期的な目線、考える力、見るべきポイントを自分のものにしてきたらこの先の業務で活かせるのではないかと考えております。成功している企業のキーワードは人にも同じことが言えるとおもいましたので、このキーワードを胸に頑張りたいと思います。

マクロ経済は目先の業務との関連を見出しにくい場合もありますが、金利上昇、インフレ、インド経済の存在感等様々な事象を紐解くと自社や担当製品の中長期的な成長率や需要を予測し戦略に落とし込むことができると思います。

日本においては高齢者層の投票率が高いが、80歳以上になると40～49歳の投票率より低いことから、団塊の世代が75歳を超えることは政治に影響を及ぼすという推察も認識しておこうと思いました。